

南三陸 復興まちづくり通信

第3号(平成26年9月発行)



一般社団法人 復興みなさん会

復興みなさん会は平成23年10月から、南三陸町内で東日本大震災の復興支援を継続しています。法人化を機会に、町内外の皆さまに活動の内容をご理解いただき、共に地域の再建への道を進んでいくために『南三陸復興まちづくり通信』を毎月発行しています。読者の皆様からの情報、ご意見、ご提案を頂戴できれば幸いです。どうぞよろしくお願いたします。



復興のシンボル戸倉小 新校舎着工

～来年2学期から供用開始～

震災で被災した戸倉小学校(児童71人)の新築移転工事が始まり、安全祈願祭が3日、戸倉地区高台の建設地で行われました。来年夏の完成予定で、2学期からの利用を目指して工事が進められます。新校舎は鉄筋コンクリート2階建てで、延べ床面積は約3,000平方メートル。木造平屋の体育館のほかプール、サケ・蚕飼育室なども整備される計画で、建設費はおよそ15億2,000万円です。



建設場所は国道45号から国道398号に2kmほど入った志津川湾を望む高台の造成地で、戸倉地区の防災集団移転団地や災害公営住宅に隣接しています。近隣には戸倉保育所や放課後児童クラブなどが入る子育て支援拠点施設なども整備される予定です。(写真上は、戸倉小学校の完成予想図。下は建設地で、右奥が防災集団移転や災害公営住宅の予定地です。)

寄木地区で区画割りの抽選会

高台移転事業を進めている寄木地区で、9月末の造成工事の完成を前に、区画を決定するための抽選会が行われました。震災から3年半。造成着工からでも1年半が過ぎて、やっと我が家の場所が決まり、お隣さん同士で「よろしくね」と挨拶を交わすなど、参加者たちにも笑顔が浮かびました。(右の絵は、寄木・葦の浜団地の完成予想図です。)



名足の災害公営住宅で「くらしの懇談会」開催

8月1日に入居が始まった名足の災害公営住宅で9月6日、役場主催の「くらしの懇談会」が開催され、入居者がこれからのコミュニティづくりについて話し合いました。入居後最初の顔合わせということで、グループ毎に自己紹介し、新居の感想や入居してからの困りごとや悩みごと、相談したいことについて意見を出し合い発表しました。さらに、支援団体による植樹祭と、それに合わせた交流会の開催についても協議しました。懇談会には復興みなさん会の会員もファシリテーターとして加わりました。



まち協「第4回中学校上団地部会」開催

伊里前まちづくり協議会「中学校上団地部会」の4回目の集会在9月9日、歌津総合支所で開かれ、住民20人が出席しました。造成工事の進捗状況の説明が行われたほか、集会所の機能や設備、利用方法などについてワークショップ形式で意見を出し合いました。



災害公営住宅入居予定者が懇談会

歌津柗沢地区で整備が進む災害公営住宅(20戸)の入居予定者のための「くらしの懇談会」が、完成したばかりの名足災害公営住宅の集会所で開かれ、11世帯が出席しました。

役場担当者が、今後の入居手続きの流れなどについて詳しく説明したほか、名足住宅の見学も行われました。柗沢災害公営住宅は来年2月末に完成、3月に入居開始の予定です。

(写真は、工事が進む柗沢災害公営住宅)



復興願い夜神楽を奉納

志津川上山八幡宮の秋の例大祭が9月15日に行われ、宵宮祭では復興を祈願して夜神楽が奉納されました。参道と境内には南方仮設住民手作りの竹燈籠や子供たちの絵燈籠、かがり火などが点され、幻想的な雰囲気の中で大勢の来場者が神楽の舞いを堪能しました。復興みなさん会のメンバーも縁日コーナーを担当し、祭りを盛り上げました。



一般社団法人 復興みなさん会

〒986-0751 宮城県本吉郡南三陸町志津川字上の山 26
上山八幡宮 社務所内 minasan.msrk@gmail.com

当法人は、本年度の宮城県震災復興担い手 NPO 等支援事業の助成金を受けて、活動を行っています。